

挑め、ともに！

小国高校魅力化通信 55

「地域に浸る講座」を開催

5月21日(木)と6月18日(木)に、1年生「地域文化学」の授業にて「地域に浸る講座」が行われました。この講座は、町内で活躍しているさまざまなジャンルのかたの姿に学ぶ授業です。

第1回は川崎小動物病院の川崎恵さん、つる細作家の柳沢茜さん、齋藤弥輔さんに、第2回は森林セラピーアテンドの横山信一さん・佐野礼子さん、民宿奥川入の皆さま、舟山真人さんにお話をうかがいました。



〈生徒の声〉

「まだ将来のことは漠然としていても、これから色々なことを経験し、自然とやりたいことに出会うと聞き、今しかできないことを経験し、成長につなげることが大事だと思います。」

「山とともに生きるのはとても素敵で楽しそうだと感じました。一方で、お話を聞いていると大変そうなお話も多く、憧れはあるものの、自分にはできるのだろうかと思いました。」

協力隊通信

series 117

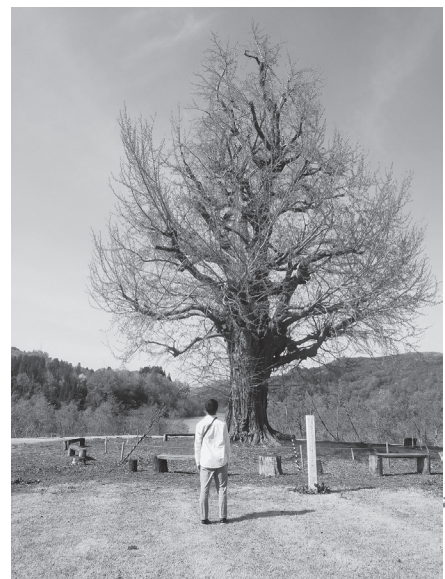
「夏」！

地域おこし協力隊 みやざき 宮崎 りく 陸

とうとう本格的に暑くなってきました。道の駅でのイベントや観光施設オープンにむけた仕事が終わりと、家に帰ると「蒸し暑いなあ」と思うようになり、夏の訪れを感じています。

私が初めて小国町に来たのは2023年5月でした。小国に移住することは気持ちでは決めていましたが、小国町がどんな場所なのかよくわからなかったので下見の意味も含め訪れました。5月ということもあり熊まつりも初めて見ましたし、まだ残雪があったことが今も記憶に残っています。それからあっという間に3年が経ちました。

協力隊の任期も残りわずかですが、任期満了までしっかりと活動し小国町を楽しもうと思います！



令和8年 第5回 小国町議会定例会

令和8年第5回定例会が6月4日から11日まで開催されました。令和8年度一般会計補正予算など22件が審議され、原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

一般会計に

2億4677万6千円を追加

融雪後に確認された施設等の破損修繕や、中東情勢の緊迫化に伴う物価上昇などの影響による委託料を追加するほか、年度当初の人事異動に伴う職員人件費、会計年度任用職員報酬等の調整を行うなど、一般会計に2億4677万6千円を追加し、補正後の予算総額は68億6120万円となりました。

次期総合センターオープン

記念イベントの開催

現在、建設を進めている次期総合センターオープン記念イベントについて、町が直接実施す

ることとし、経費の組み換えを行いました。また、竣工式における記念品を製作することとし、製作に要する経費を追加しました。

町内農家への支援

地域農業の担い手として、持続的な農業経営の確立を目指す新規就農者に対し、創農チャレンジ給付金を支給することとしました。また、県の地域農業構造転換支援事業を活用し、地域農業の中核となる担い手農業者の経営改善に必要な農業機械の導入を支援することとし、これに要する経費を追加しました。

高校魅力化の新たな取組みと

教育DXのさらなる推進

県立小国高等学校の留学受入事業について、一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォームとの協働による、小国高校に特化した募集イベントを都内で

開催することとし、これに要する経費を追加しました。また、昨年度に引き続き、教職員の校務作業において、生成AIによる効率化を図ることを目的とする、文部科学省の「生成AIパイロット校事業」に採択されたことから、教育DXの推進に向けた実証事業を実施します。

スクールバスの購入

本町小・中学校の児童生徒等を送迎する29人乗りスクールバス1台を取得することとし、売買について2事業者による見積合わせの結果、891万4千57円で山形トヨタ自動車株式会社米沢店に落札決定し、これに消費税等を加えた980万円で契約を締結しました。

白い森おぐに総合文化センター

の設置及び管理に関する条例の設定について

現在建設中の(仮称)小国町

次期総合センター建設事業について、完成後の開館に向け、公の施設としての適正な位置づけと管理運営を行うため、設置及び管理に関する条例を設定しました。なお、新施設の名称については、長い間、町民に親しまれてきた「センター」という響きを残し、「白い森おぐに総合文化センター」と命名することとしました。

小国町農業委員会委員の任命

農業委員会委員の任期満了に伴う人事案件が提案され、次のかたの任命について同意されました。

- 横山 隆藏氏(小玉川・再任)
- 金 敦子氏(小渡・再任)
- 山口 満氏(大石沢・再任)
- 舟山 孝夫氏(若山・再任)
- 小嶋 剛氏(町原・再任)
- 大谷 健人氏(西・再任)
- 安部 茂氏(小股・再任)